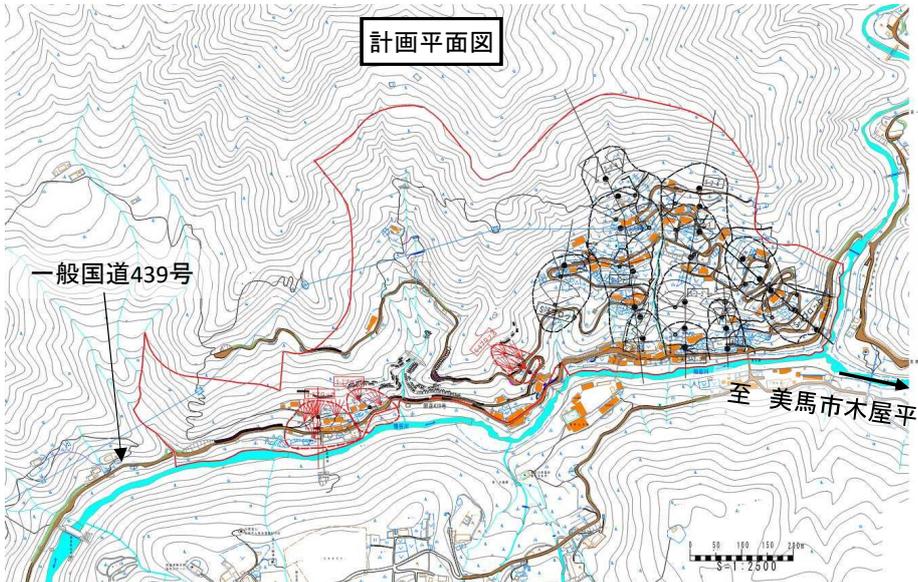


砂防事業 事後評価結果

担当課 : 徳島県砂防防災課

事業の概要

担当課長名 山名 剛

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県三好市東祖谷	箇所名	菅生地すべり防止区域		
事業概要					
横ボーリング工 L=2,080m					
事業の目的・必要性					
当区域においては、市道擁壁の変状や石積みの押し出しなど地すべり兆候が多数見受けられ、人家43戸及び一般国道439号1,380m(緊急輸送道路)、市道1,920m、菅生小学校(避難所)などに被害を及ぼす恐れがあり、早期の対策が必要であった。このため、平成21年から地すべり対策事業を再開し、地下水を排除する抑制工を実施し、国土の保全及び民生の安定を図る。					
総事業費		101百万円			
事業概要図・写真					
 <p>徳島県 三好市 東祖谷 施工箇所</p>		 <p>計画平面図 一般国道439号 至 美馬市木屋平</p>			
 <p>完成写真</p>					

事業評価結果

事業効果等	評価項目	評価内容
	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費100百万円→精算全体事業費101百万円 計画工期H21～H29→実施工期H21～H29
	②事業の効果の発現状況	・緊急輸送道路である一般国道439号や避難所に指定されている旧菅生小学校を保全したことにより、地域の防災力の向上に寄与した。また、土砂災害警戒区域が設定され、警戒避難体制の促進を図ることができた。
	③事業実施による環境の変化	・工事の進入路について、土地の改変が少ない工法を採用した。
	④社会経済情勢の変化	・当地区では保全対象及び土地利用状況には変化はない。
	⑤課題と今後の事業への反映	・一部の住民から事業の理解を得るのに時間を要し、陳情を受けた事例がある。事業に影響する関係者との調整を説明会等により積極的に実施し、円滑な事業進捗を図りたい。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成21年	13.0	100	工事費、調査費	1,301	人家43戸、国道1,380m
	完成時	平成29年	33.4	102	工事費、調査費	3,406	人家43戸、国道1,380m

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。